

ごみ処理基本計画前期（平成 26 年度～30 年度）に実施した
主なごみ減量の取り組みについて

1 平成 26 年度～29 年度の取り組み

年月	内容
平成 27 年 10 月	リサイクルステーションの試行実施（平成 28 年 3 月まで）
平成 28 年 7 月	プラスチック製容器包装の毎週収集開始
平成 28 年 10 月	スプレー缶・カセットボンベを、資源ごみの「スプレー缶類」として収集開始
平成 28 年 11 月	プラスチック製容器包装指定袋（30ℓ）を追加
平成 29 年 3 月	市内公共施設 5 か所に、小型家電回収ボックスを設置

2 平成 30 年度の取り組み

(1) 連合自治会との協力

ア 白鳳連合自治会

- ・ 連合自治会の会議（平成 30 年 9 月 30 日、10 月 21 日）に出席し、連合自治会役員・自治会長・町内会長に雑がみ分別に関する説明及びチラシ（資料 3 - 2 及び 3 - 3）の配布を依頼（約 2,700 枚）
- ・ 連合自治会役員・自治会長・町内会長に雑がみ分別に関するアンケート依頼

イ 本地ヶ原連合自治会

- ・ 連合自治会の会議（平成 30 年 10 月 6 日及び 13 日）に出席し、連合自治会役員・自治会長・町内会長に生ごみ減量に関する説明及びチラシ（資料 3 - 4）の配布を依頼（約 3,200 枚）

ウ 旭丘連合自治会（平成 30 年 11 月 11 日）

- ・ 旭丘連合自治会主催の 3R イベント「がおかエコフェス」に参加し、雑がみ分別、生ごみ減量に関する出前講座を開催（約 60 名受講）
- ・ 出前講座受講者に、雑がみ分別、生ごみ減量に関するアンケート依頼

(2) 子どもに対する取り組み

平成 30 年 6 月 22 日、中部保育園年長児を対象に出前講座を開催（資料 3 - 5）。

今年度は 6 園で出前講座を開催予定